

このコーナーでは、市工業会・市商工会工業部会会員から応募のあった企業を紹介しています。



第5回 カネパッケージ(株)
 住所 南峯1095の15
 ☎2936・3031
 設立 昭和59年9月
 URL <http://www.kanepa.co.jp/>

「安全に包む」をモットーに

カネパッケージ(株)は、製品を運ぶ梱包資材を設計開発から製造まで、一貫して行っている会社です。梱包材の役割の一つは、安全に包んで製品を運ぶことです。私たちの会社は、その「安全に包む」技術のコアとなる緩衝設計に優れ、省資源化やダウンサイジング化にも積極的に取り組んでいます。特にその技術は高く、生卵を200m上空から落下させても壊れない緩衝技術を持っていきます。その材料は、なんと段ボールです。TVや新聞にも取り上げられました。



生卵が割れない緩衝梱包

培った技術を生かして

技術は、梱包材の枠を超え、緊急用避難シェルターまで発展しました。このシェルターは大人2〜3人で簡単に組み立てられるだけでなく、風雨の中で6カ月の耐久試験にも合格しています。

す。東日本大震災のときには、この緊急用シェルターと共に、簡易トイレ、ポータブルベッドも作成して、被災地へ寄付しました。

環境も守ります

次に環境への取り組みです。どんなに頑丈に保護されていても、梱包材の重量が重く、かさばっては、限りある資源の無駄遣いです。そこで、設計を工夫し、省資源化だけではなく、輸送効率を上げ、物流全体から発生するCO2の削減も実現しています。

また、フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシアなどの海外ヘグロバル展開していくうちに、マングローブ林の危機を知り、マングローブ植林活動を開始しました。10月末現在

で580万本(東京ドーム34個分)を超えるマングローブ林を再生させ、CO2の削減に取り組ましました。企業のCSR活動にもつながり、さまざまな関係者を巻き込んだ活動となり、多くの企業が協力して参加しています。



フィリピンのマングローブ林

こうした取り組みが評価されて、平成25年度には、環境大臣賞を受賞しました。今後も、私たちは製品だけでなく環境も守れる会社として取り組んでいきます。